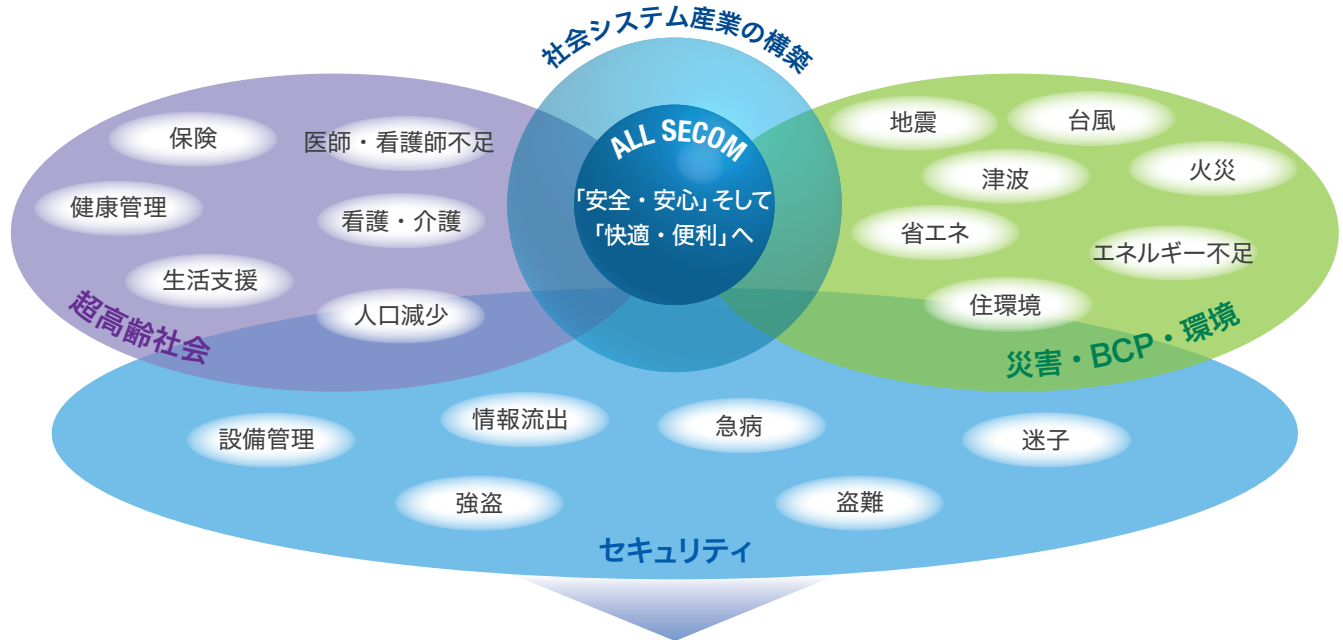


特集：“ALL SECOM”で今後の成長に向けた取り組みを強化

“ALL SECOM”で取り組みを強化する「3つの領域」



社会の困りごと、日常の不安を“ALL SECOM”で解決し、「安全・安心」で「快適・便利」な社会を実現

セコムは、今後の日本の社会を見据えて、「セキュリティ」をベースに「超高齢社会」「災害・BCP・環境」を切り口として、「ALL SECOM」により新たなサービスを創出し、成長に向けた取り組みを強化しています。

▶オンライン・セキュリティシステムを一貫して提供する体制が成長基盤の要

セコムのセキュリティサービスの強みは、オンライン・セキュリティシステムを一貫して提供する体制にあります。セコムは、セキュリティシステムの研究開発から機器の製造、販売、セキュリティプランニング、設置工事、24時間監視、緊急対処、メンテナンスまでを、自社で責任を持っています。

研究開発の分野では、独自の研究開発体制を構築することで、お客様の声を反映させたシステムの迅速・的確な開発を可能にしています。





セコム・コントロールセンター

24時間監視と緊急対応の分野では、侵入・火災などの異常の監視はセンサーなどセキュリティ機器の迅速性と正確性を活用し、緊急対応などの判断力や対応力を必要とする部分は人間が行っています。長年培った緊急対応のノウハウを持つ管制員の素早い判断力や訓練された緊急対応員の初動の速さに加え、業界最多、2,800カ所を超える緊急発進拠点を持つことにより、迅速な緊急対応を可能にしています。また、セコムはセキュリティサービスを提供する人材の教育と管理を徹底しており、それも質の高いサービスの提供に結びついています。

加えて、レンタル方式でセキュリティシステムを提供することにより、お客様は初期の導入費用を抑えることができ、さらにセコムが責任を持ってセキュリティ機器を維持・管理することで、常に安定した品質の高いセキュリティサービスを提供できます。他社にはないセキュリティシステムを一貫して提供することの体制が、高い信頼性を実現し、セコムのブランド力の根源となっています。

セコムの緊急対応サービス付オンライン・セキュリティシステムは、海外のお客様からも「セコム方式」として高く評価され、現在世界11の国と地域で提供しており、今後さらに世界へ普及させていきます。

▶「超高齢社会」への取り組み

超高齢社会とは、国連による定義で、全人口に対する65歳以上の人口の割合が21%を超えた社会です。日本は、2007年に世界で初めて超高齢社会になりました。セコムはこれまでの事業ノウハウを最大限に活用し、超高齢社会に対応した「安全・安心」で「快適・便利」なサービスの創出に取り組んでいます。

セコムは健常な高齢者も介護が必要な高齢者も入居できるシニアレジデンスや、入居時から介護を必要とする方を対象にした少人数入居の介護付有料老人ホーム、デイサービス（通所介護）施設などを運営しています。

今回、新たにサービスを開始した高齢者向けの救急時対応サービス「セコム・マイドクタープラス」は、超高齢社会のニーズをいち早く捉え、セキュリティサービスやメディカルサービスで培ってきたサービスのノウハウ、業務提携した大手介護事業会社の介護ノウハウを結集したサービスです。いつでも(24時間)、どこでも(家庭内・屋外)、救急通報をセコムに送信できることで、お客様に「安全・安心」をご提供します。

また、「セコム・ホームセキュリティ」のお客様向けに提供している「お元気コールサービス」「お元気訪問サービス」は、オンライン・セキュリティシステムにメディカルサービスと生活支援サービス「セコム・ホームサービス」を組み合わせて、高齢者のみならず、離れて暮らすご家族の安心な暮らしを支援しています。

さらに、超高齢社会に対応したサービスのビジネスモデルは、高齢化が進む海外の国や地域で展開していくことも可能です。変化する社会の多様なニーズに応えるために、セコムは超高齢社会に「安全・安心」「快適・便利」を提供することをめざし、“ALL SECOM”で社会に役立つサービスを開発・提供していきます。



低発泡消火実験(能美防災)

▶「災害・BCP・環境」への取り組み

災害については、東日本大震災や大型台風の教訓を踏まえて、防災サービス事業を従来の火災対応の防災システムだけではなく、あらゆる事態を想定した事業にしていきます。セコム、能美防災、ニッタンの技術力とノウハウを結集、事業連携を推進し、自然災害にも対応できる次世代型防災システムを開発していきます。

また、セキュリティサービスでは、東日本大震災の教訓から、「セコム・ホームセキュリティ G-カスタム」には、お客様の個人情報データをデータセンターでお預かりする「データお預かり機能」が備わっています。さらに、(株)パスコが提供する地理情報サービスでは、東日本大震災の際に合成開口レーダー衛星「TerraSAR-X」の撮影画像を利用して解析した地図情報が、災害復旧の初動対応に役立ち、災害時の人工衛星の有用性が大いに注目されています。

一方、大規模自然災害に加えて、サプライチェーンのグローバル化、機密情報を狙うサイバー攻撃など、企業の事業停止のリスクが多様化・複雑化しています。そのため、緊急事態発生時におけるBCPが、あらゆる企業の重要な課題となっています。



「セキュアデータセンター」

セコムは、企業の情報やシステムを守り、災害時には事業を継続するための各種サービスを提供しています。BCPを支援するセコムの代表的なサービスが、災害発生時に企業の被災状況の情報収集と初動を支援する「セコム安否確認サービス」です。このサービスには、セキュリティサービス事業で培った緊急時対応の経験とノウハウが凝縮されており、国内最大規模の安否確認サービスとなっています。

また、セキュリティサービス、防災サービス、地理情報サービス、情報通信サービスなど、グループ各社の危機管理に関する経営資源を結集して、総合的にBCPを支援する「危機管理支援トータルサービス」なども提供しています。

環境については、地球環境に対する意識の高まりとともに、環境に配慮しながら持続可能な社会を実現するために、“ALL SECOM”の総合力と技術力で、環境保全の一助となるサービスを開発・提供しています。

セキュリティサービスでは、施設・オフィスの設備制御や店舗の自動運営をサポートする安全管理・設備自動制御システム「セコムFX」を提供して、省エネや省力化を可能にしています。また、オフィスにはエネルギー使用状況の計測・集計システム「セコム・エコデータシステム」を提供し、エネルギー消費に関するデータを「見える化」することで、お客様の省エネ活動を



「ドライミスト」

支援しています。街角では、極めて微細な水の粒子を噴霧して空間を冷却する能美防災の「ドライミスト」が、地球温暖化対策やヒートアイランド対策に貢献しています。さらに、地理情報サービス事業を展開するパスコが提供する人工衛星や航空機からの観測情報は、森林再生やCO₂吸収量の算出、自然と調和の取れた地域開発などの環境保全に活用されています。

▶“ALL SECOM”で「安全・安心」「快適・便利」な社会を構築

“ALL SECOM”で事業を推進するうえで、セコムのサービスを提供する重要な情報通信基盤となるのが、データセンターです。国内最高水準のデータセンターを有するアット東京がグループ入りし、セコムは今後のデータ通信量の増加に備えるとともに、安全で効率的なデータの集積・管理にも取り組んでいます。データセンターは、情報の安全な管理だけでなく、各種サービスを提供する“サービスセンター”としての役割を果たすことが期待できます。

セコムは、「セキュリティ」をベースに「超高齢社会」「災害・BCP・環境」の切り口で、独創的なサービスやシステムを“ALL SECOM”で創出し、「安全・安心」で「快適・便利」な社会の構築に、果敢に挑戦していきます。